



研究成果大募集!

令和8年度 いわての高校生

サイエンス — エンジニアリング — チャレンジコンテスト

応募からコンテストまで

- ① 公式HPから、参加申込書の様式をダウンロードし、先生を通じて主催者あて申込書を提出します。
- ② 物理、化学又は工学に関する分野の中から1つのテーマを自由に設定し、研究・実験・測定等を行います。

応募チームはコンテストまでの期間で現役の研究者から内容について直接アドバイスやサポートを受けることができます。

- ③ 研究等の成果をPowerPointにとりまとめ、コンテスト当日に発表してください。

応募資格・参加形態

岩手県内に所在する高等学校及び高等専門学校の1,2学年に在籍している生徒で構成される3~5人のチーム

応募締切

令和8年9月9日(水)

詳細は実施案内をご覧ください。

お問い合わせ

岩手県ILC推進局 事業推進課

電話：019-629-5203

Email：AB0009@pref.iwate.jp

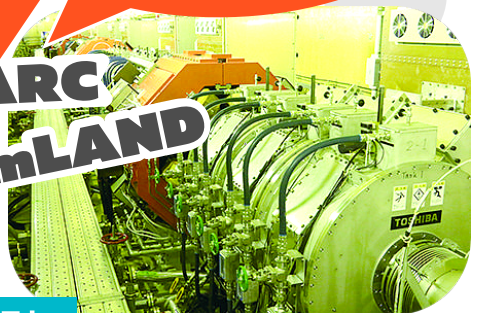
公式HPはこちらをご覧ください▶

<https://www.pref.iwate.jp/kensei/ilc/1065429.html>



1位チームは
日本最先端科学が
体験できる!

J-PARC
KamLAND



画像提供：J-PARCセンター

コンテスト
開催日

令和8年12月13日(日)

会場

アイーナ
いわて県民情報交流センター
(盛岡市盛岡駅西通)

- コンテスト参加の旅費は主催側が負担いたします。
- 第1位(岩手県知事賞)のチームは、令和9年3月に実施予定の国内先端研究施設研修(J-PARC、KamLAND等)の派遣対象となります。

サイエンス&エンジニアリング・チャレンジコンテスト

これまでの研究発表内容

🏆: 第1位獲得チーム

令和6年度 (6校9チーム) (発表順)

チーム名

盛岡第三高等学校 理数探究コース化学2班
 黒沢尻北高等学校 揺れストッパーズ
 盛岡中央高等学校 科学部光触媒班
 🏆 盛岡第三高等学校 理数探究コース物理1班
 黒沢尻北高等学校 リケジョの星
 水沢高等学校 理数科化学2班
 盛岡第一高等学校 IMM
 釜石高等学校 バイオロギングを用いた
 ウミガメの生態系調査隊
 盛岡第三高等学校 理数探究コース物理2班

発表テーマ

パルスジェットエンジンのアナログ制御
 大きな地震に耐えられる建物を作るには
 酸化チタンの光触媒の考察
 色素増感太陽電池の発電効率に関する研究
 自在ほうきの性能向上について～使い古されたほうきの性能向上と効果の持続性～
 美味しい香りをつくろう～メイラード反応と香りの関係～
 薬品の投与による植物の成長の変化
 バイオロギングを用いたウミガメの生態の調査
 音響浮揚における浮く物質と質量の変化



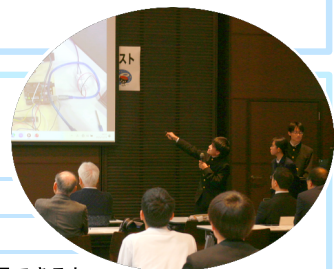
令和7年度 (5校9チーム) (発表順)

チーム名

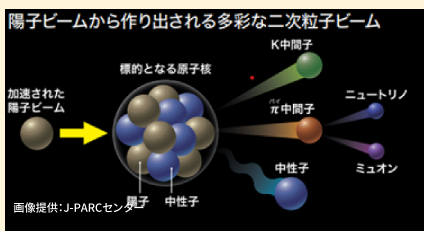
盛岡第三高等学校 理数探究コース物理2班
 🏆 盛岡第一高等学校 ジグソニア
 盛岡第三高等学校 理数探究コース化学2班
 黒沢尻北高等学校 シャコ探究隊
 水沢高等学校 水沢高校ルミノール班
 盛岡第三高等学校 理数探究コース物理1班
 盛岡中央高等学校 盛岡中央科学部
 盛岡第一高等学校 ストーム凱歌
 水沢高等学校 水沢高校物理音班

発表テーマ

音消火器の実用化
 ジグソーパズル組み立て自立型ロボットの開発
 光触媒による残留医薬品の分解
 シャコパンチから得たエネルギーを電気として利用できるか
 ルミノール反応を科学する
 ケルビン発電機の効率化
 変形菌の観察
 ストームガラスの結晶の挙動
 近隣の騒音を消そう！



国内先端研究施設研修

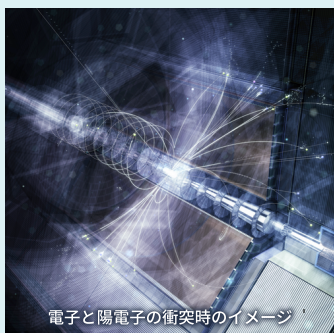


【J-PARC】 研修施設の一つである大強度陽子加速器施設J-PARC (Japan Proton Accelerator Research Complex) は、素粒子物理、原子核物理、物質科学、生命科学、原子力など幅広い分野の最先端研究を行うための陽子加速器群と実験施設群です。ほぼ光速まで加速した世界屈指の大強度の陽子ビームを標的にぶつけ、中性子、ミュオン、ニュートリノ、K中間子などの二次粒子ビームを作り出し、宇宙や物質の成り立ちにせまる実験・研究を行っています。

【KamLAND】 KamLAND(神岡液体シンチレーター反ニュートリノ検出器)は岐阜県飛騨市に位置する液体シンチレーターという特殊な液体を使ったニュートリノ検出実験施設です。遠く離れた原子炉から飛んでくるニュートリノや、地球内部から来るニュートリノ、太陽から来るニュートリノなど自然界のあらゆるニュートリノを捕え、ニュートリノと自然の謎に迫る画期的な実験です。



国際リニアコライダー (International Linear Collider)



ILCは国際協力によって設計開発が推進されている次世代の直線型加速器です。

電子とその反粒子である陽電子を電気や磁気力で光速近くまで加速して超高エネルギーで正面衝突させる実験を行います。ILCの実験によって宇宙の始まりに起きたとされるビッグバンの直後の状態が再現され、ヒッグス粒子などさまざまな粒子があらわれます。

2012年に発見されたヒッグス粒子は物質の質量をつかさどる粒子として考えられていますが、詳しいことはまだわかっていません。ヒッグス粒子を大量に生成し、詳しく調べることができるILCは、ヒッグスファクトリー(ヒッグス工場)として、世界の研究者から期待されています。

ILCをダンスで
学ぼう!

衝突ダンス!
こちらから

